令和８年度　糸島市立前原西中学校　９月号

学 校 だ よ り

全校生徒　計７４３名

令和８年９月２９日（火）

校長　光益　ゆかり

校訓　「希望」「実践力」「知性」

〇学校教育目標

地域を愛し、心豊かで未来を切り開く生徒の育成

〇令和8年度重点目標　「知性～深く考え、学び続ける力～」

自他を大切にし、協働しながら主体的に学び成長する生徒の育成

事前学習から実践へ！～防災学習と避難訓練（全学年）～





９月１日は「防災の日」です。これは１９２３年（大正１２年）の同日に発生した関東大震災の教訓を忘れることなく、災害への備えを深めるために制定されたものです。本校で毎年９月に地震・津波避難訓練を行っているのも、こうした防災学習や訓練を通して災害時の重要性を再確認し、自らの命を守るための意識を高めることを目的としています。特に今年は、全国各地で線状降水帯が発生し、甚大な被害をもたらしました。大雨や洪水といった災害は、決して他人事ではありません。そこで本校では、災害を我が事として捉え、自ら命を守る力を養うために、９月２日（水）に全学年を対象とした防災学習を実施いたしました。

今年度は、激甚化する風水害に対して万全な備えをするために、「マイ・タイムライン」を作成する活動を行いました。事前学習として、まずは洪水や土石流、土砂崩れ、がけ崩れといった様々な災害の仕組みについて学習しました。その上で、ハザードマップ等を活用して自宅周辺にどのような災害リスクがあるのかを実際に確認していきました。生徒のみなさんは、大雨が降ったときに想定される被害だけでなく、雨が止んだ後も土砂崩れなどの危険が続くことを学び、最新の情報やハザードマップを自ら活用しながら「命を守る行動」をとることの大切さを改めて実感していました。

こうした学びを踏まえ、今回の核となる「マイ・タイムライン」の作成に取り組みました。「マイ・タイムライン」とは、これから起こるかもしれない災害に対して、周囲の状況を考慮しながら、いつ、だれが、何をするのかを時系列で整理した「避難行動計画表」のことです。生徒のみなさんは、平常時からできる備えや、警戒レベルごとに応じた行動のポイントを一つひとつ真剣に考えながら、自分自身の計画表を作り上げていきました。

学校で学んだことは、ぜひご家庭でも共有していただきたいと考えております。これを機会に、大雨の際の家族の役割分担を決めたり、我が家ならではの「マイ・タイムライン」を一緒に作成したりするなど、ぜひご家族で防災について話し合う時間を設けてみてください。学校と家庭が一体となり、もしもの時に備えていきましょう。



９月２５日には地震および津波の発生を想定した避難訓練を実施しました。今回の訓練では、地震発生時に身の安全を守る基本行動や整然とした集団行動、高所への避難経路などを確認しました。生徒のみなさんは終始、集中して真剣に取り組むことができました。実際に動いてみることで、事前の想定通りにうまくいった点がある一方で、新たな気づきや課題も見つかったのではないでしょうか。

災害はいつ、どのような形で起こるかわかりません。「いざ」というときに冷静に行動できるよう、普段から様々な場面を想定しながら学校生活を過ごしていきましょう。

西中生、頑張っています！～９月前半までの結果報告～

〇水泳部　　:福岡県中学校新人体育大会

・女子４×100mフリーリレー　出場:
　森田　彩愛(１年７組)　石井　海(２年５組)　永椎　琴葉(１年２組)　真子　乃依(１年１組)
・女子４×100mメドレーリレー　出場:
　真子　乃依(１年１組)　宮﨑　菜歩(２年４組)森田　彩愛(１年７組)石井　海(２年５組)
・女子 200m個人メドレー　出場:小柳　結乃(１年２組)
・女子 100m平泳ぎ　出場:小柳　結乃(１年２組)

〇陸上競技部　:筑前地区陸上競技大会(県大会出場決定者)

・1年男子 100m　　第３位　　植木　奏多(１年４組)
・共通男子 800m　　第３位　　内場　総介(２年３組)
・共通男子 3000m　第４位　　加納　創太(２年６組)



〇科学技術部　:第７回国際宇宙ロボット(火星ローバー)コンテスト

・審査員特別賞　　吉村　海里　・　吉村　佳祐(1年5組)

〇第30回糸島市中学生英語スピーチコンテスト

・課題の部　最優秀賞　　濵崎　莉帆　(2年2組)
・自由の部　優秀賞　　松本　莉佐　(1年7組)



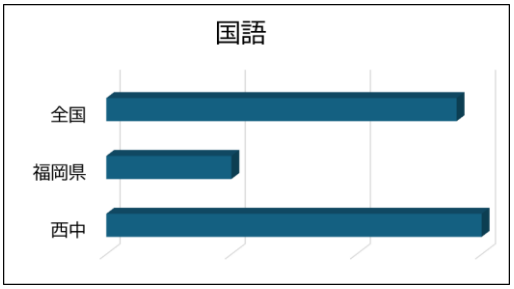


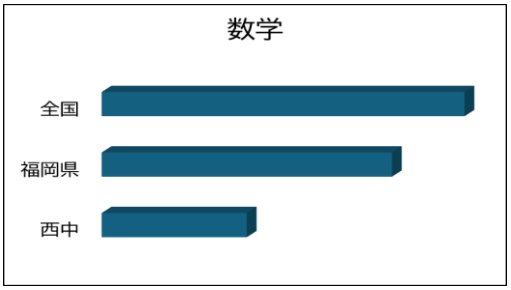
10月の主な行事予定

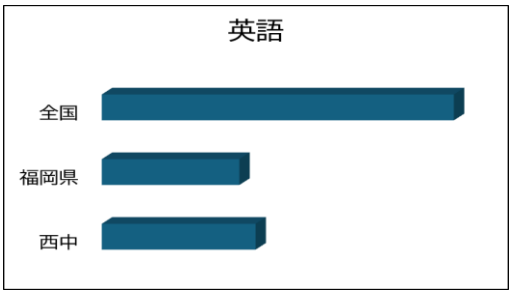
1	木	3年進路テスト、２年職場体験
3	土	糸島区中体連新人大会（サッカー、卓球、柔道、バレーボール、軟式野球、バドミントン）
4	日	糸島区中体連新人大会（サッカー、剣道、軟式野球(予備日)）
7	水	前期終業式（給食なし）、３年成人教育講演会
10	土	糸島区中体連新人大会（バスケ、軟式野球、サッカー）
11	日	糸島区中体連新人大会（バスケ、軟式野球（予備日））
12	月	糸島区中体連新人大会（予備日）
13	火	後期始業式（給食なし）
16	金	IBAテスト
21	水	筑前地区大会（駅伝競走）
22	木	文化発表会・合唱コンクール（伊都文化会館）
24	土	糸島区中文連大会、筑前地区大会（新体操）、筑前地区アナウンスコンテスト、

→裏面に今年度の全国学力学習状況調査(3 年)の結果分析を掲載しています。

令和８年度全国学力・学習状況調査について







全国の小学６年生と中学３年生を対象に４月に行われた全国学力・学習状況調査は、今年度「国語」「数学」に加え「英語」の検査が加わるとともに、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査が実施されました。先日、その結果が出ましたのでお知らせいたします。この調査は、全国の児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析することにより、教育活動の成果と課題を明らかにし、その改善を図ることを目的としています。

国語については、全国平均、県平均を上回っていました。

特に文章の構成を意識しながら、自分の考えをわかりやすく書く力や、文章を読んで理解した内容をもとに、自分の考えを深める力がついていました。

数学については、全国・県平均を下回っており、特に、文字の種類や指数に着目して同類項を見分け、文字式を整理することに課題が見られました。

英語については、県平均は上回ったものの、全国平均には届きませんでした。日常的な話題について必要な情報を聞き取ることができているものの、会話の場面や状況に応じて、必要な状況を判断しながら聞き取る力に課題が見られました。

生徒質問紙の結果からは、自己有用感や規範意識が高く、互いの考えを尊重しながら学び合おうとする風土が育まれていたり、学んだことを実生活に生かそうとする意識が高かったりという傾向が見られました。しかし、自らの学びを選択・工夫することや自分の考えを整理してわかりやすく伝えることに課題が見られました。またＳＮＳ等の利用時間が全国平均より高く、家庭学習時間の確保に課題があることもわかりました。

今後の取組については、ＮＴ（西中タイム）等を活用し、基礎・基本の充実や「読む・書く」活動の充実を図ることを通して、思考力・判断力・表現力を育成することに努めていきたいと考えております。

また、自ら学び方を選択・調整する学習活動のさらなる充実や ICT の効果的な活用等を推進し、学力のさらなる向上を目指します。

学校生活全般においては、生徒一人一人の良さを認め励ます取組や安心できる学級づくりを継続していきます。

加えて、家庭と連携しながら SNS 等の利用時間の見直しと、家庭学習時間の確保や習慣化を推進していきたいと考えてとりますので、今後とも本校の教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。